

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズすてっぷかいぜ				公表日	2025年 1月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	活動の用途や児童の状況によって、スペースを区切る個室を使用などの工夫をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	基準を満たす配置は行っている。	専門の療法士の配置を行うことで、より充実した支援が行える。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	スケジュール表を利用した視覚支援で理解が深められるよう取り組みを行っていく。玄関(入口)はバリアフリーとなっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	利用者様が使いやすいような工夫、分かりやすい配慮を心がけ快適に過ごることができるように整理整頓・清掃を心がけている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		ワンルールの支援である為、利用者様がクールダウンを必要としている時に使用できる部屋があるとより良いと感じる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	職員間で話し合いを行いながらスムーズに業務ができるように努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者様向けのアンケート調査を実施し、業務改善に努めている。	保護者様アンケートについて職員間で共有し、年間計画に反映している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	定期的に職員会議を開き、その中で出た意見を支援内容や行事計画に取り入れるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	現在、第三者評価は受けていないが、今後受ける機会があれば積極的に参加したい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	職員の経験や興味に合わせた研修会に、できるだけ参加できるように努めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	定期的に計画の見直し(モニタリング等)を実施し、保護者様や利用者様の今の状況やニーズを把握するようにしている。また、それを計画に反映させるように努めている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	個別計画作成時には、利用者様のニーズそして職員の意見を取り入れて作成するようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ガイドラインを参考にしながら、具体的な支援計画を作成するようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	週に1回以上職員会議を行い、意見を出し合う機会を作っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	児童発達支援を通して様々な体験をし、個々の育ちに繋げていけるようにPDCAサイクルを大切にしている。	長期休暇においては多数のイベントを企画した。また、安全に留意しながら遺出をして科学館や演劇を見る機会をもった。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個々の特性に合わせて計画書を作成している。計画した個別活動や集団活動のねらいを明確にし支援に臨みたい。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	平日や学校休業日、長期休暇によって支援内容も異なってくるので、事前の打ち合わせは大切にしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援終了後には、短い時間であってもその日の振り返りを行い、その日あった事の報告や連絡、情報交換をしている。その日に振り返りの時間が取れない場合は、次の日の朝のミーティング時に行っている。	支援終了後に話し合いの時間が取れない日がある。そのような場合はグループLINEを活用するようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	日々の記録を個別で記載している。個別支援計画書で立案した支援目標と照らし合わせながら、個々の育ちを確かめている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年に1回は個別支援計画の評価を行い、保護者様の意見も取り入れながら計画の見直し、立案を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達管理責任者が利用者様の状況を十分に踏まえて参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	専門機関と連携を取りながら助言を受け、利用者様の療育に活かすことができるようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	定期的にはではないが、必要に応じて情報共有や相互理解を図るように努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	定期的にはではないが、必要に応じて情報共有や相互理解を図るように努めている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	帰宅時にその日の利用者様の様子について報告をし、保護者様からご意見を頂いている。	送迎時である為、時間の都合上十分にご相談に応じられない時がある。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		ペアレントトレーニングを踏まえた事業所内支援は行っているが、ご家族に対しての研修機会は設けていない。今後、取り入れてみたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	利用契約時に説明を行うが、その後も保護者様が利用について不明な事があればその都度説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	計画書を作成するにあたり、十分な保護者様への聞き取りを行い計画書に反映させている。また、保護者様に児童発達支援計画について同意を得ている。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	日々の連絡帳のやり取りや、必要に応じて電話や面談で個々の様子を伝え助言や支援に繋げている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談や申し入れがあった時は、内容に沿って電話や面談で対応をするようにしている。必要に応じて、相談支援員へ繋ぐようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎週のブログ発信や2ヶ月に1回の「キッズすてっぷかいぜ便り」を通して、活動や療育内容を分かり易くお知らせしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	利用者様及び職員の個人情報については、細心の注意を払い取り扱っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	言葉での意思の疎通が難しい利用者様については、絵カードや写真等を活用しながら支援に努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	キッズすてっぷとしてのマニュアルは作成し、職員間で定期的なマニュアルの研修を実施して共通理解を図っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	自然災害発生時における業務継続計画を作成し、計画内容を職員間で周知をしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約の際に一人一人の既往歴や服薬状況、予防接種の確認を行い、事業所で服薬が必要な場合は必ず与薬依頼書を提出して頂いている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	食物アレルギーにおいて、医師の診断書を要する利用者様は在籍していないが保護者様との面談（契約時）に詳しく聞き取りを行っている。	今後、食物アレルギーの利用者様をお預かりする時があればご家庭と情報共有をしながら対応させて頂きたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を確認しながら、月ごとに定められた訓練や点検を実施した。	訓練を実施した写真をお便りやブログに掲載し、今後も周知を行っていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	安全計画を作成しホームページに掲載し、保護者様にもお知らせしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットに値する事例が発生した際はその都度事例検討を作成し、事故防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	事業所内でマニュアルに沿った虐待防止の研修を行ったり、外部講師の虐待研修にも参加をしている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	どのような事が身体拘束になるのかを保護者様に説明をし、身体拘束にかかわる同意書を交わしている。		